

図1 機動GPS臨時観測により設置された観測点分布図。

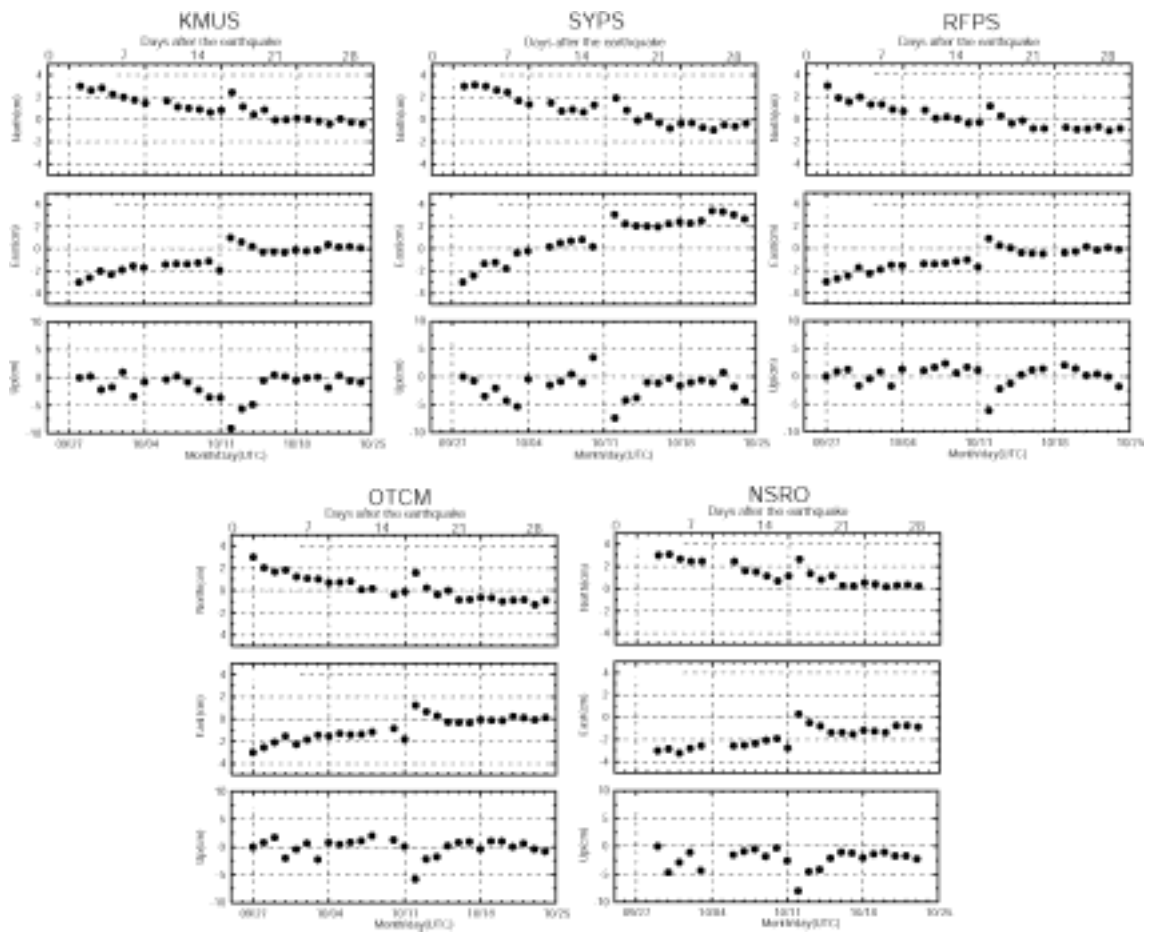


図2 取得された GPS データを解析して得られた 2003 年 10 月末までの座標の時系列。

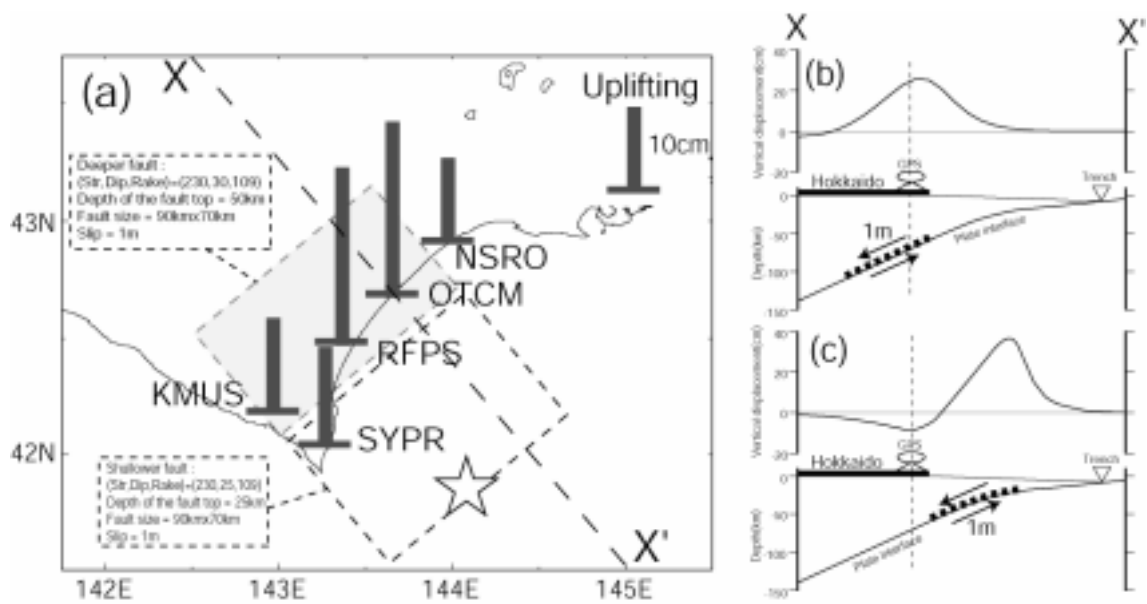


図3 (a)本震断層の深部延長ですべりが発生した場合にGPS観測点で観測される上下変動。(b)本震断層の深部延長ですべりが発生した場合に地表面で発生する上下変動の(a)のX-X'ラインにそったプロファイリング。(c)本震断層と同じ場所で余効すべりが発生した場合に地表面で発生する上下変動のプロファイリング。

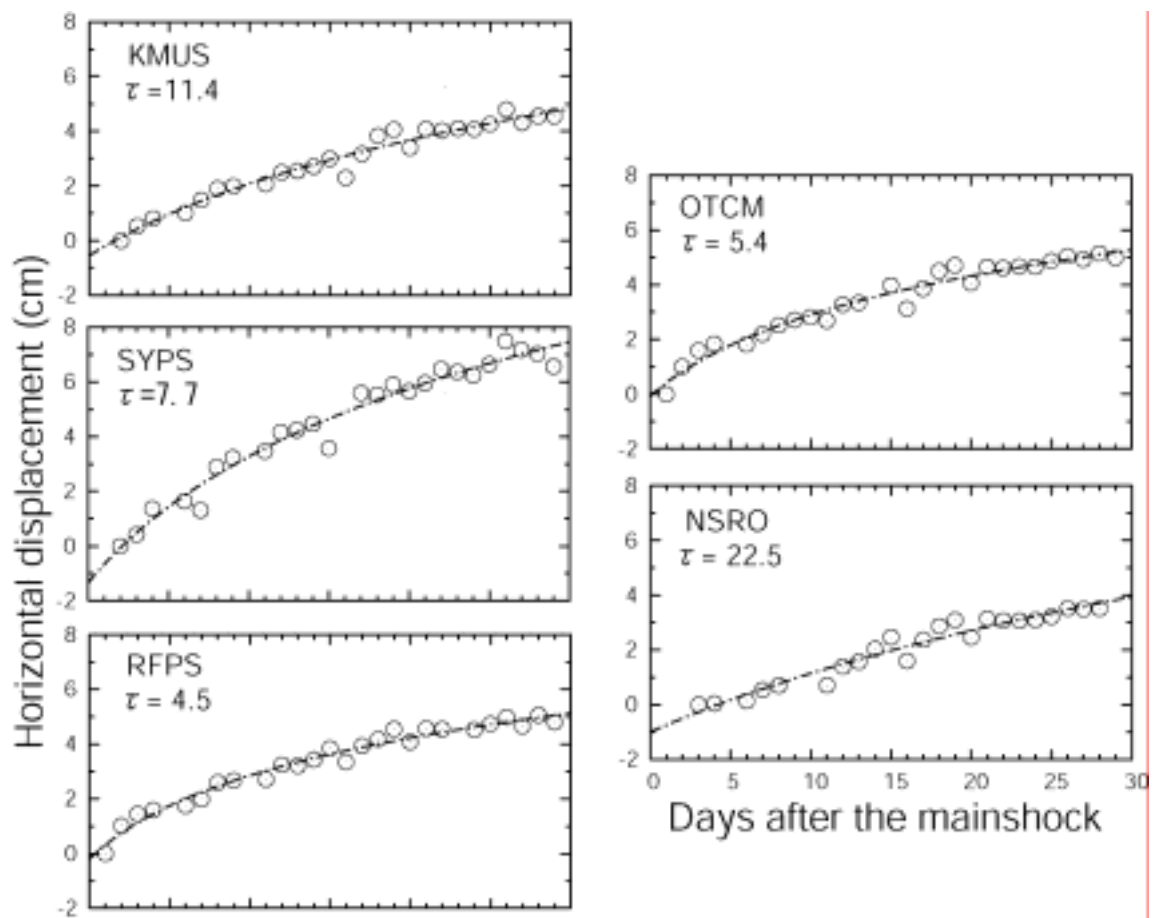


図4 観測された水平変動を最も変動量の多い方向に投影してノルムをとり，それに対して対数関数のフィッティングを行って時定数および振幅を推定した結果．  $\tau$  は時定数（単位は日）を示す．

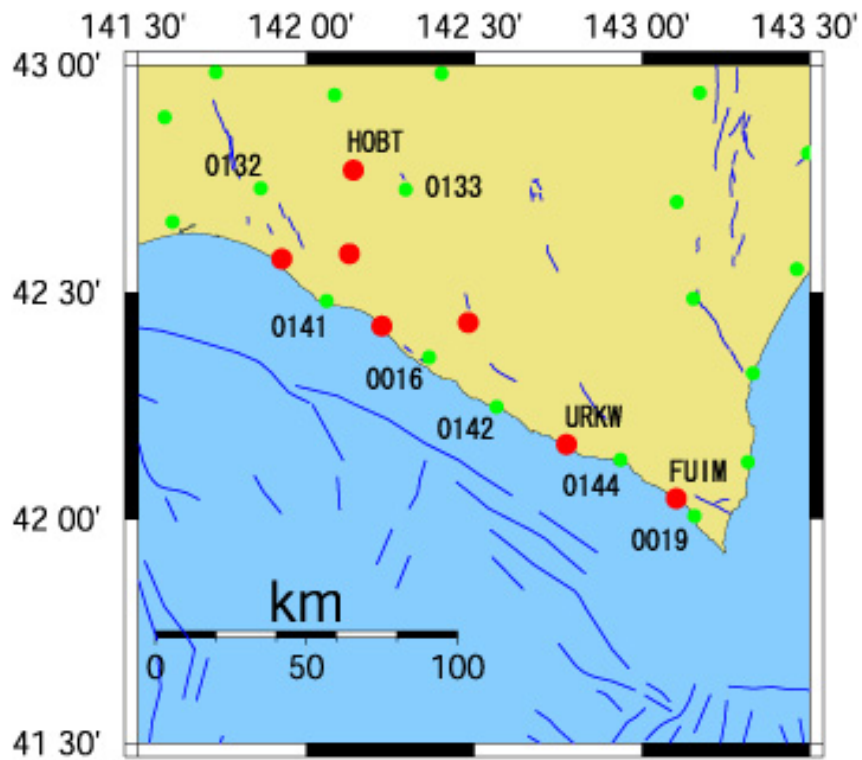
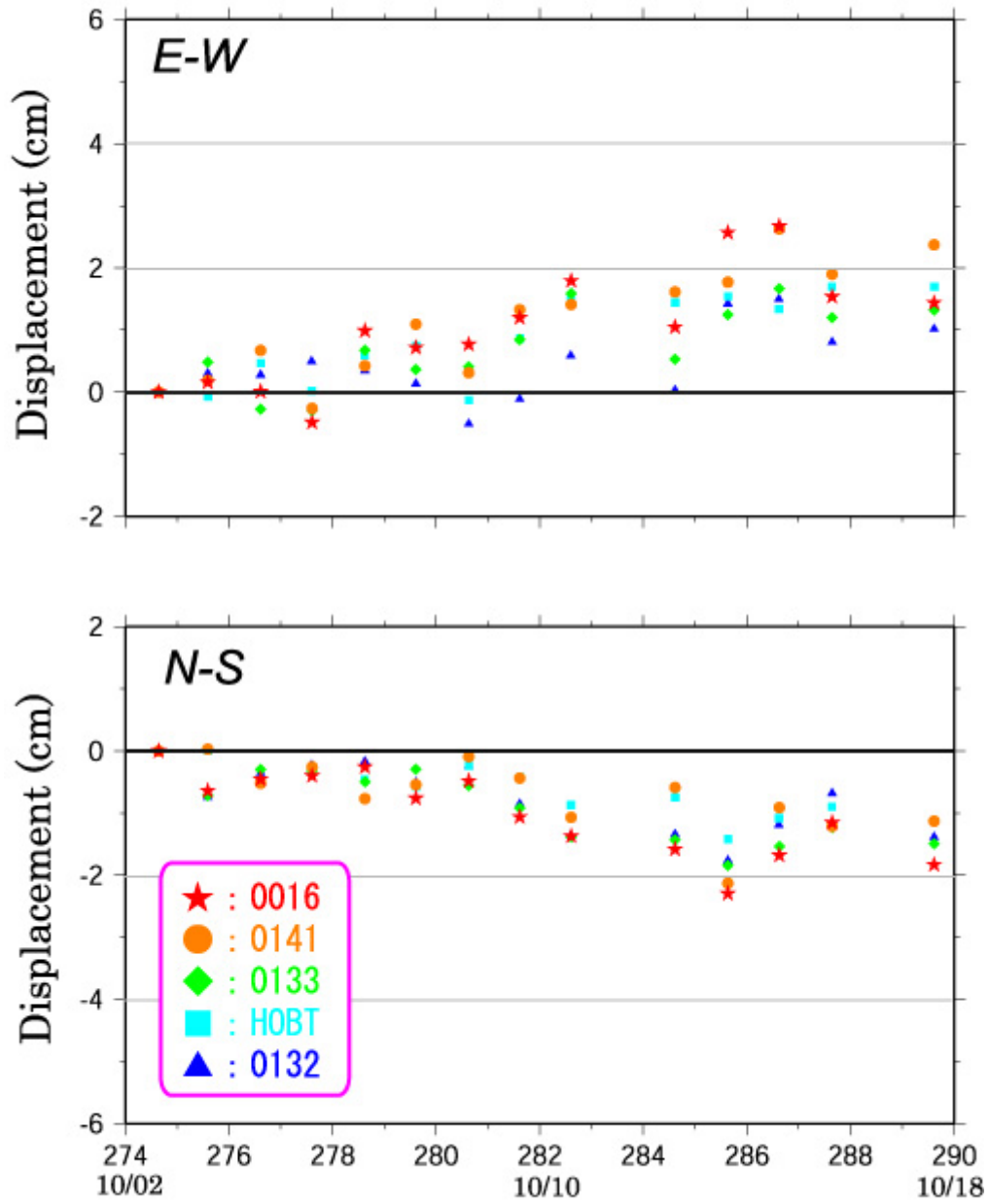


図5 . 日高地方における十勝沖地震に伴う余効変動 GPS 観測点配置。英字コードは京大防災研設置点、数字コードは GEONET 点を示す。

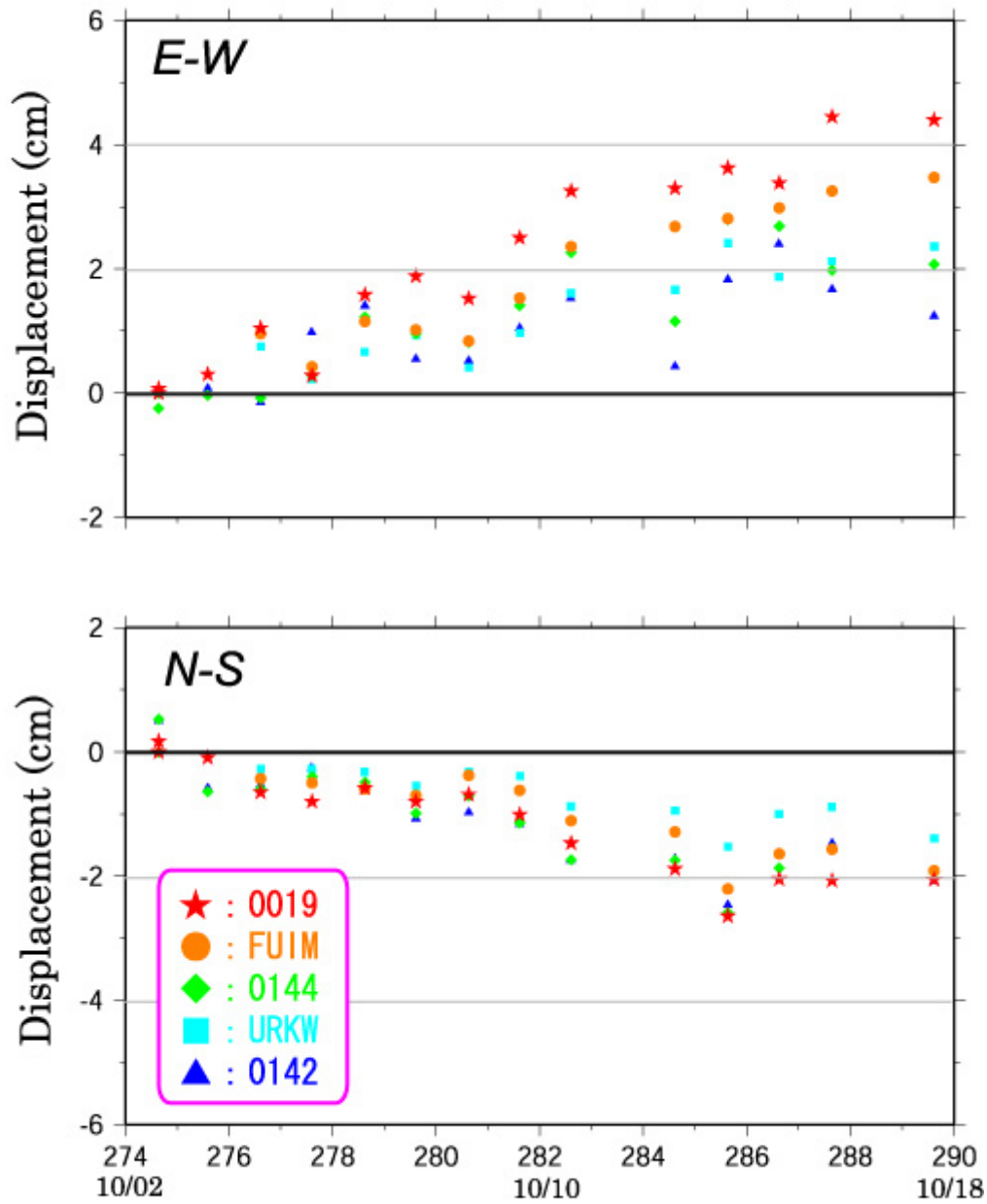
# North-Hidaka



Day of Year from 2003/01/01  
Processed by RCEP, DPRI, Kyoto Univ. using GEONET and RCEP station's data  
[ Sato, Hashimoto, Ohya and Hoso, 2003 ]

図6 .10月2日以降18日までの静内以北 GEONET 観測点および京大観測点の座標変化。  
(上)東西、(下)南北成分。

# South-Hidaka



Processed by RCEP, DPRI, Kyoto Univ. using GEONET and RCEP station's data  
 [ Sato, Hashimoto, Ohya and Hoso, 2003 ]

図7 . 10月2日以降18日までの浦河～えりも周辺のGEONET観測点および京大観測点の座標変化。(上)東西、(下)南北成分。